

2017年度「アルミニウム製品」総需要見通し

アルミニウム調査会

① 総需要見通し総括

(単位：千トン)

	2015年度実績 (平成27年度)	2016年度見込 (平成28年度)	対前年度比増減 (%)	2017年度見通し (平成29年度)	対前年度比増減 (%)
合計	4,058	4,127	+1.7	4,156	+0.7

1. 2016年度見込

アルミニウム製品総需要：4,127千トンの見込み（2015年度比+1.7%、過去最高比▲7.4%。過去最高は、2006年度の4,457千トン）*4,000千トン台は3年連続

(圧延品)：2015年度比+2.2%

- ・缶材—ビール系飲料は減少するも、ボトル缶及び低アルコール飲料の増加により+0.1%
- ・自動車材—アルミパネルを含む乗用車へのアルミ需要増及びトラック架台の好調により+4.6%
- ・建設向け—プラスを見込むが(+0.6%)、新設住宅着工戸数の伸びに比べ弱く需要は弱含み

(鋳造品)：2015年度比+2.8%

- ・国内乗用車生産台数の増加により+2.8%

(ダイカスト品)：2015年度比+1.5%

- ・国内乗用車生産台数の増加に加え、輸出用自動車部品の需要が堅調で+1.5%

(輸入)：2015年度比+2.2%

- ・アルミ圧延品の輸入増により+2.2%

(輸出)：2015年度比▲3.6%

- ・海外関連工場への輸出の減少により▲3.6%

2. 2017年度見通し

アルミニウム製品総需要：4,156千トンと予測（2016年度見込比+0.7%）

(圧延品)：2016年度比+0.5%

- ・缶材—ビール系飲料は減少するも、ボトル缶及び低アルコール飲料の増加により+1.0%
- ・自動車材—アルミパネルを含む乗用車へのアルミ需要増及びトラック架台の増加により+1.8%
- ・建設向け—新設住宅着工戸数の減少により▲0.2%

(鋳造品)：2016年度比+2.1%

- ・国内乗用車生産台数は減少が予想されるも、輸出用自動車部品の増加により+2.1%

(ダイカスト品)：2016年度比+0.2%

- ・国内乗用車生産台数は減少が予想されるも、輸出用自動車部品の増加により+0.2%

- (輸入) : 2016 年度比+2.2%
 ・アルミ圧延品の輸入増は継続し+2.2%
- (輸出) : 2016 年度比▲0.5%
 ・需要は前年並と予測 (▲0.5%)

② 主要部門別補足説明

<圧延品> 【アルミ製品全体の構成比：44.0%】

2016 年度 (+2.2%)	2015 年度比+2.2%の見込み (1,824 千トン) ○缶材—+0.1% ・ビール系飲料は減少するも、ボトル缶及び低アルコール飲料の増加 ○自動車材—+4.6% ・アルミパネルを含む乗用車へのアルミ需要増及びトラック架台の好調 ○建材—+0.6% ・プラスを見込むが、新設住宅着工戸数の伸びに比べ弱く需要は弱含み
2017 年度 (+0.5%)	2016 年度比+0.5%と予測 (1,833 千トン) ○缶材—+1.0% ・ビール系飲料は減少するも、ボトル缶及び低アルコール飲料の増加 ○自動車材—+1.8% ・伸び率は減少するものの、アルミパネルを含む乗用車へのアルミ需要増及びトラック架台の増加 ○建材—▲0.2% ・新設住宅着工戸数の減少によりマイナス

注 1) : 左欄の (%) は前年度比。以下同様 注 2) : 構成比は 2015 年度実績をもとに算出

<鋳造品> 【アルミ製品全体の構成比：10.3%】

2016 年度 (+2.8%)	2015 年度比+2.8%の見込み (429 千トン) ・鋳造品の 9 割以上が自動車向け。国内乗用車生産台数の増加により、鋳造品もプラス
2017 年度 (+2.1%)	2016 年度比+2.1%と予測 (438 千トン) ・国内乗用車生産台数は減少が予想されるも、輸出用自動車部品の増加により、鋳造品もプラス

<ダイカスト品> 【アルミ製品全体の構成比：23.4%】

2016年度 (+1.5%)	2015年度比+1.5%の見込み(964千ト) ・ダイカスト品の約9割が自動車向け。国内乗用車生産台数の増加に加え、輸出用自動車部品の需要が堅調で、ダイカスト品もプラス
2017年度 (+0.2%)	2016年度比+0.2%と予測(966千ト) ・国内乗用車生産台数は減少が予想されるも、輸出用自動車部品の増加により、ダイカスト品もプラス

<電線> 【アルミ製品全体の構成比：0.6%】

2016年度 (▲1.5%)	2015年度比▲1.5%の見込み(24千ト) ・電線需要の大半が電力向け。電力会社の設備維持改修需要が減少したことにより、電線需要もマイナス
2017年度 (+2.5%)	2016年度比+2.5%と予測(25千ト) ・電力会社の設備投資需要が増加するものと予想され、電線需要もプラス

<鉄鋼(鉄鋼脱酸用アルミ)> 【アルミ製品全体の構成比：3.1%】

2016年度 (+1.2%)	2015年度比+1.2%の見込み(129千ト) ・2016年度の粗鋼生産は2015年度比1.2%増の1億550万トが見込まれ、鉄鋼脱酸用アルミも増加を見込む
2017年度 (+0.6%)	2016年度比+0.6%と予測(130千ト) ・2017年度の粗鋼生産は2016年度を上回る見通しとされており、鉄鋼脱酸用アルミも増加を予測

<輸入> 【アルミ製品全体の構成比：10.1%】

2016年度 (+2.2%)	2015年度比+2.2%の見込み(419千ト) ・アルミ圧延品の輸入増
2017年度 (+2.2%)	2016年度比+2.2%と予測(428千ト) ・アルミ圧延品の輸入増が継続

<輸出> 【アルミ製品全体の構成比：6.1%】

2016年度 (▲3.6%)	2015年度比▲3.6%の見込み(240千ト) ・輸出の大半は圧延品の板類。海外関連工場への輸出減
2017年度 (▲0.5%)	2016年度比▲0.5%と予測(239千ト) ・需要は前年並と予測

以 上

③ 製品別需要

2017年3月29日
アルミニウム調査会
(単位:トン)

製 品	年 度	2015	2016	2017	対前年度増減率	
		実績 平成27年度	見込み 平成28年度	見通し 平成29年度	16/15	17/16
圧延品	板類	1,036,931	1,058,590	1,065,700	2.1	0.7
	内自動車	154,566	161,794	166,300	4.7	2.8
	押出類	747,752	765,856	767,300	2.4	0.2
	内自動車	132,974	139,110	140,000	4.6	0.6
	計	1,784,683	1,824,446	1,833,000	2.2	0.5
	内自動車	287,540	300,904	306,300	4.6	1.8
鑄造品	自動車	389,834	401,000	410,000	2.9	2.2
	その他	27,054	27,500	27,500	1.6	0.0
	計	416,888	428,500	437,500	2.8	2.1
ダイカスト品	自動車	847,102	863,300	864,000	1.9	0.1
	その他	102,620	100,800	102,000	▲ 1.8	1.2
	計	949,722	964,100	966,000	1.5	0.2
鑄造品・ダイカスト品 計		1,366,610	1,392,600	1,403,500	1.9	0.8
鍛造品		41,761	42,392	42,600	1.5	0.5
内自動車		29,476	29,579	29,600	0.3	0.1
電線		24,765	24,400	25,000	▲ 1.5	2.5
鉄鋼		127,629	129,200	130,000	1.2	0.6
粉		9,918	10,017	10,000	1.0	▲ 0.2
その他		44,421	45,074	45,000	1.5	▲ 0.2
輸 入		409,504	418,671	428,000	2.2	2.2
国内需要計		3,809,291	3,886,800	3,917,100	2.0	0.8
輸 出		248,686	239,807	238,700	▲ 3.6	▲ 0.5
総 需 要 計		4,057,977	4,126,607	4,155,800	1.7	0.7

自動車向け 合計 1,553,952 1,594,783 1,609,900 2.6 0.9

注1) ▲印はマイナス

注2) 輸入は、「圧延品」「その他(粉、構造物、缶箱、台所用品、その他)」の輸入の合計数字(出典:財務省貿易統計)

注3) 輸出は、「圧延品」、「電線」、「粉」、「地金」の輸出の合計数字(出典:「圧延品」「粉」日本アルミニウム協会統計、「電線」日本電線工業会統計、「地金」財務省貿易統計)

アルミニウム調査会構成 (順不同)

アルミ缶リサイクル協会

一般社団法人 日本アルミニウム合金協会

一般社団法人 日本ダイカスト協会

一般社団法人 日本アルミニウム協会

一般社団法人 軽金属製品協会

一般社団法人 日本サッシ協会

一般社団法人 日本電線工業会